

教科の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。
- (2) 社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を養う。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、言語感覚を豊かにし、我が国の言語文化に関わり、国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

学年の目標

- (1)社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2)論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3)言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を通して自己を向上させ、我が国の言語文化に関わり、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

評価の観点

月	内容のまとまり	単元	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
4	深まる学びへ	・世界はうつくしいと ・握手 ・【聞く】評価しながら聞く	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、話の中や文章の中で使うことによって、語感を磨き語彙を豊かにしようとしている。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。	・文章の種類を踏まえて、論理や物語の展開の仕方などを捉えている。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現の仕方を評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・進んで語感を磨き、友達や考えや今までの学習を生かして詩の解釈や朗読をしようとしている。 ・聞き取った内容や表現のしかたを進んで評価し、今までの学習を生かしそうとしている。
5	視野をを広げよう	・学びて時にこれを習ふー「論語」から ・情報整理のレッスン 情報の信頼性 ・文章の種類を選んで書こう	・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ・さまざまな種類の文章があることを理解している。	・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・題材に関する情報や図表、写真を集め、出典を明らかにして記事の中で活用し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	・人間、社会、自然などについて積極的に自分の意見を持ち、今までの学習を生かして朗読したり考えを伝え合ったりしようとしている。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し、積極的に使おうとしている。 ・進んで文章の種類を選択し、学習の見通しをもって情報を編集し文章にまとめようとしている。
6	情報視社会を広げよう	・思考のレッスン 具体化・抽象化 ・説得力のある構成を考えよう。 ・資料 リオの伝説のスピーチ ・漢字に親しもう2 ・文法への扉1 すいかは幾つ必要？	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ・目的や場面に応じて、社会生活の中から話題を決め、多様な考えを想定しながら材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ・自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 ・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。	・具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。 ・相手を説得できるように粘り強く論理の展開などを考えて話の構成を工夫し、今までの学習を生かして自分の考えを話そうとしている	・具体と抽象の関係について積極的に理解し、学習した内容を生かして課題に取り組もうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・助詞や助動詞の働きなどを進んで振り返り、今までの学習を生かして練習問題に取り組もうとしている。 ・積極的に情報の信頼性の確かめ方を使って読み、学習したことを踏まえて実生活への生かし方を考えようとしている。また、文章の構成や論理の展開、表現のしかたについて進んで評価し、学習課題に沿って報道の文章を比較し、考えをまとめようとしている。
7	言葉とともに	・俳句の可能性 ・俳句を味わう ・言葉を選ぼう ・言葉1 和語・漢語・外来語 ・読書を楽しむ ・「私の一冊」を探しにいこう ・読書案内 本の世界を広げよう ・読書コラムためになるってどんなこ	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・文章の種類とその特徴について理解を深めている。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 ・和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	・文章の構成や表現のしかたについて評価している。 ・様々な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ・表現のしかたを考えるなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	・進んで文章の種類とその特徴について理解し、学習課題に沿って、鑑賞文を書いたり俳句を創作したりしようとしている。 ・時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて進んで理解し、試行錯誤しながら相手や場面によって言葉を選んで話そうとしている。 ・進んで和語・漢語・外来語を理解し、今までの学習を生かして相手や場面に応じて適切に使い分けようとしている。 ・進んで読書の意義と効用について理解し、見通しをもって読書を楽しむ活動に参加しようとしている。 ・進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習を生かして本を選んだり読んだことを書評などにまとめたりしようとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。

9	状況の中で	・挨拶一原爆の写真によせて ・故郷 ・聞き上手になろう ・〔推敲〕論理の展開を整える	・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 ・敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。	・詩の構成や表現のしかたについて自分の考えをまとめている。 ・詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・話の展開を予測しながら聞き、聞き取った内容や表現のしかたを評価して、自分の考えを広げたり深めたりしている。	・詩の構成や表現のしかたについて積極的に評価し、学習課題に沿って読み深めた詩について、感じたことや考えたことを伝え合おうとしている。 ・粘り強く文章を批判的に読み、今までの学習を生かして小説を批評したり、自分の考えをまとめたりしようとしている。 ・粘り強く話の展開を予測しながら聞き、今までの学習を生かして質問したり評価を述べたりしようとしている。
10	自らの考えを	・漢字2 漢字の造語力 ・漢字に親しもう3 ・人工知能との未来 ・人間と人工知能と創造性 ・多角的に分析して書こう ・漢字に親しもう4 ・〔議論〕話し合いを効果的に進める	・漢字の造語力を意識しながら、漢字を読んだり書いたりしている。 ・情報の信頼性の確かめ方を理解し使っている。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・文や文章の中で漢字を読んだり書いたりすることに慣れている。 ・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。	・文章を批判的に読みながら、文章に表れているものの見方や考え方について考えている。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。 ・表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章になるように工夫している。 ・進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。	・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・積極的に二つの文章を批判的に読み、学習課題に沿って自分の考えを文章にまとめようとしている。 ・粘り強く表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりし、学習の見通しをもって批評文を書こうとしている。 ・学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 ・積極的に進行のしかたを工夫し、学習したことを生かして効果的な話し合いについて考えようとしている。
11	いにしえの心を受け継ぐ	・合意形成に向けて話し合おう ・音読を楽しもう 初恋 ・季節のしおり 秋 ・和歌の世界 ・音読を楽しもう 古今和歌集 仮名序 ・君待つと——万葉・古今・新古今 ・夏草——「おくのほそ道」から ・古典名句・名言集	・具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き、語彙を豊かにしている。 ・理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。 ・歴史的背景などに注意して古典を読むことを通して、その世界に親しんでいる。 ・く親しまれている言葉や古典の一節を引用するなどして使っている。	・進行のしかたを工夫したり互いの発言を生かしたりしながら話し合い、合意形成に向けて考えを広げたり深めたりしている。 ・詩の構成や展開、表現のしかたについて評価している。 ・和歌の表現のしかたについて評価している。 ・文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 ・文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	・合意形成に向けて粘り強く考えを広げたり深めたりし、学習の見通しをもって話し合おうとしている。 ・進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読したり自分の考えを述べたりしようとしている。 ・伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。 ・進んで古典の世界に親しみ、今までの学習を生かして朗読しようとしている。 ・進んで和歌の表現のしかたについて評価し、見通しをもって鑑賞文を書こうとしている。 ・人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして発表したり文章にまとめたりしようとしている。 ・長く親しまれている言葉や古典の一節を進んで引用するなどし、今までの学習を生かして朗読したり書き出したりしようとしている。

12	価値を生み出す	- 誰かの代わりに - 情報を読み取って文章に書こう - 漢字3 漢字のまとめ - 漢字に親しもう5 - 文法への扉2 「ない」の違いがわからない？ - 本は世界への扉	- 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 - 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。((2)ア)→具体的な情報を基に、着眼点を決めて分析し、自分の考えをまとめている。 - 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。 - 単語の類別について理解するとともに、単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて理解している。	- 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 - 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえ、自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。	- 人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習を生かして、理解したことや考えたことについて討論したり文章にまとめたりしようとしている。 - 論理の展開などについて、読み手からの助言などを踏まえて粘り強く推敲し、学習の見通しをもって小論文を書こうとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。 - 単語の活用、助詞や助動詞などの働きについて進んで理解し、これまでの学習を生かして課題に取り組もうとしている。 - 進んで読書の意義と効用について理解し、今までの学習や経験を生かして、ノンフィクションを読んだ考えたことをまとめようとしている。 - 伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
1	未来へ向かって	- 温かいスープ - わたしを束ねないで	- 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。 - 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、語感を磨き語彙を豊かにしている。	- 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 - 詩を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。	- 人間、社会、自然などについて進んで自分の意見を持ち、今までの学習や経験を生かして批評したり考えを伝え合ったりしようとしている。 - 詩を読んで進んで考えを広げたり深めたりし、今までの学習を生かして、作品の価値や自分の可能性について考えをまとめようとしている。
2	未来へ向かって	- 三年間の歩みを振り返ろう - 漢字に親しもう6	- 理解したり表現したりするために必要な語句の量を増し、慣用句や四字熟語などについて理解を深め、話や文章の中で使うとともに、和語、漢語、外来語などを使い分けることを通して、語感を磨き語彙を豊かにする。 - 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 - 第2学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字の大体を読んでいる。また、学年別漢字配当表に示されている漢字について、文や文章の中で使い慣れている。	- 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 - 文章の種類を選択し、多様な読み手を説得できるように論理の展開などを考えて、文章の構成を工夫している。	- 粘り強く言葉を選んだり構成を工夫したりし、今までの学習を生かして、文章にまとめたり、友達の発表を聞いて質問したり評価したりしようとしている。 - 学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
3	振り返り	学習を振り返ろう	- 敬語などの相手や場に応じた言葉遣いを理解し、適切に使っている。 - 具体と抽象など情報と情報との関係について理解を深めている。 - 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いについて理解している。 - 自分の生き方や社会との関わり方を支える読書の意義と効用について理解している。	- 文章を読んで考えを広げたり深めたりして、人間、社会、自然などについて、自分の意見をもっている。 - 自分の立場や考えを明確にし、相手を説得できるように論理の展開などを考えて、話の構成を工夫している。 - 場の状況に応じて言葉を選ぶなど、自分の考えがわかりやすく伝わるように表現を工夫している。 - 表現のしかたを考えたり資料を適切に引用したりするなど、自分の考えがわかりやすく伝わる文章に	粘り強く文章や資料を読み取り、今までの学習を生かしてそれぞれの学習課題に取り組もうとしている。
評価方法			定期テスト	- 定期テスト - 課題プリント - 論述、レポートなど - グループでの活動	- ふり返り - 課題プリント - 提出物 - 授業の様子

学習の進め方

～授業～ - 教科書等をしっかりと読み、自分の考えをもちましょう。それぞれの考えを共有し、深めていきましょう。一つの考えだけでなく、そこからさらに発展させて考える力をつけていけるようにしましょう。 - グループ活動や発表では、自分の考えを伝えるだけでなく、仲間の考えをしっかりと聴くことが大切です。最後までじっくりと聴きましょう。 - その日の授業で考えたことを、ふりかえり、次の学習につなげていきましょう。 - 学習したことを、普段の生活につなげて考えていきましょう。 ～家庭学習～ - その日の学習を、教科書やワークを使って復習しましょう。 - 次の授業の予習を教科書やワークを使ってしておきましょう。漢字や意味を各自調べておきましょう。 ～テスト～ - 課題にしっかりと取り組み、テストに備えましょう。 - 教科書やワークを使って、これまでの復習をしておきましょう。 - 誤字・脱字、テストの受け方、取り組み方などを意識しましょう。（入試対策）
--